

令和2年度 【太子町】認知症地域支援推進員活動報告

【太子町】の認知症地域支援推進員について

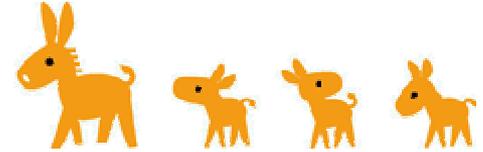
- 1 認知症地域支援推進員: 1名
- 2 認知症地域支援推進員の役割
 - ・認知症の人やその家族の相談や、医療や介護等関係機関へのつなぎ
 - ・支援を行う関係者が、情報交換や支援事例の検討などを行う連絡会議の設置
 - ・地元医師会や認知症サポート医とのネットワークの形成
 - ・認知症ケアパスの作成・普及
 - ・認知症の人と家族を支える地域の人材やサービス拠点についての情報収集
 - ・在宅介護サービス従事者への認知症研修の実施

報告者氏名: 石橋 ありさ (太子町高年介護課)

【太子町】認知症施策全体図（令和3年3月31日現在）

認知症予防

- ・出前講座「認知症にならないために」 実施なし
- ・いきいき百歳体操 59グループ活動



相談窓口など

- ・地域包括支援センター（認知症相談センター）
- ・もの忘れ相談 * 要予約・無料
月1回、臨床心理士による検査と相談を実施
実績：10回、32人（結果内訳）異常なし：15人、異常あり：17人
- ・認知症初期集中支援チーム

見守り支え合う取り組み

- ・認知症サポーター養成講座
8回実施、323名のサポーター誕生
累計サポーター数：5,562名
うちキッズサポーター：3,279名
- ・認知症サポーターフォローアップ講座 11名参加
- ・高齢者等安心見守りネットワーク事業 94事業所と協定締結
- ・高齢者等徘徊SOSネットワーク事業 34名登録
- ・太子町あんしん見守りキーホルダー登録事業 1,087名登録



見守り支え合う取り組み

- ・認知症高齢者等見守り・声かけ体験 実施なし
- ・情報伝達模擬訓練 年1回実施、90事業所参加
- ・認知症カフェ(オレンジカフェ)町内3カ所 開催中止
- ・介護マーク名札交付事業 *無料 15名交付
- ・太子町オレンジライフサポート(認知症ケアパス)
- ・かかりつけ医及び病院勤務の医療従事者向け
認知症対応力向上研修 *計画していたが中止
- ・オレンジライトアップ
- ・図書館において認知症コーナーの設置
- ・本人ミーティング(オレンジ広場)の実施
年17回実施、対象者4名、延べ参加数57名
- ・認知症予防教室(社協委託)
10/1~12/17の間、12回実施 13名参加
- ・いきいき百歳体操参加者への認知症チェック



認知症ケア人材の育成(権利擁護事業)

- ・「西播磨成年後見センター」開設

認知症地域支援推進員の配置

- ・平成29年4月より専従で保健師(常勤)1名配置



【太子町】令和2年度認知症地域支援推進員具体的活動報告 テーマ番号<⑧>

認知症の人にやさしい地域づくりに関する独自の取組

令和2年度の活動経過について

新型コロナウイルス感染症の発生状況を鑑み、当初予定していた認知症サポーターの活動が軒並み中止。

《認知症サポーター 活動一覧》



- ①認知症カフェでの活動→認知症カフェ自体が実施できず。
- ②認知症カフェ啓発活動→予定していたイベントが中止。
- ③本人ミーティングでの活動→緊急事態宣言発出中以外は実施。
- ④認知症サポーター養成講座での寸劇活動
→感染防止のため内容変更。寸劇は実施できず。
- ⑤認知症見守り・声かけ体験での活動→自治会での実施できず。
- ⑥認知症サポーターキャラバンロボ隊長作製
→三密回避のため、積極的な実施できず。

オレンジガーデニング・プロジェクトの実施

4月に緊急事態宣言が発令され、様々なイベントが中止になったが、そんな中でも出来る活動を一緒にしようとNPO法人播磨オレンジパートナーから活動の呼びかけがあり実施。

■ 目的

活動を通して、認知症について考え、周囲の人と話をするきっかけにしたり、認知症の人といっしょに花を育てたりして、認知症になっても暮らしやすいまちをみんなで作っていく。

■ 実施内容

9月初旬に、認知症啓発のシンボルカラーであるオレンジ色の花(マリーゴールド)の苗を認知症サポーターで協力可能な方に配布し、それぞれの場所で花を育てる。



9月は「世界アルツハイマー月間」
オレンジの花で彩りを

ORANGE GARDENING PROJECT
オレンジガーデニング
プロジェクト

申込不要!
自由に
ご参加ください

「認知症になっても希望をもって自分らしく暮らし続けられる社会」
に向けた活動が全国のさまざまな場所で行われています
その一環として「オレンジ ガーデニング プロジェクト」が始まります

世界アルツハイマー月間の
9月はオレンジ色の
花を咲かせましょう

「#オレンジガーデニング」で
成長の様子や咲いた花を
SNSにご投稿ください

オレンジ色は、認知症啓発のシンボルカラー。「認知症になっても暮らしやすいまちをみんなで創っていこう!」という思いを共有し、全国各地でオレンジ色の花を咲かせましょう!
ご自宅や、施設・職場・地域で、一人でも、家族・友人と一緒にでも、いろんな所で、いろんな形で、花を育てながら成長も楽しんでください。そして9月には、思いのこもったオレンジ色の花をたくさん咲かせ、全国各地で癒しと元気を与えてくれることを願っています。
この活動を通して、認知症について考え、周囲の人と話をするきっかけにしたり、認知症の人といっしょに花を育てたりして、認知症になっても暮らしやすいまちをみんなで創っていきましょう。

この取り組みについては「オレンジガーデニングプロジェクト」の Facebook ページ内でUPしていきたいと思っております。プロジェクトのロゴ・告知用データもダウンロードして周知にお使いください。ロゴなどについての問合せは Facebook ページを、もしくはメール (nagaokaorange@gmail.com) 宛にご連絡ください。

オレンジガーデニングプロジェクト

西播磨の「園芸ボランティア」を募集します!
「認知症になっても安心して暮らせる西播磨」を目指して、先着100名(個人・団体)の方に種をお送りしますので、花を育ててぜひ啓発活動にご協力ください!
【お申込み】NPO法人播磨オレンジパートナー FAX 0791-62-2410 TEL 090-9235-3867
または harima.dementia@gmail.comに ①お名前 ②電話番号 ③送付先をご連絡ください。

■活動に参加した 認知症サポーターの反応

猛暑だったため、花がうまく育たなかったところもあったが、コロナ禍で鬱々としていた認知症サポーターの心に響いたよう。

(感想)

- ・花を見た周囲の人から声を掛けられ、話をするきっかけになったし、認知症についての話題で話ができた。
- ・「コロナ禍だから・・・」と、何もできないと決めつけて諦めていたが、コロナ禍にも出来ることがあると思った。
- ・種を収穫し、また次に繋げていきたい。来年が楽しみ。



■実施の効果



①認知症の啓発

- ・世界アルツハイマー月間である9月に、認知症について考えるきっかけづくりになった。

②認知症サポーターの意欲向上

- ・コロナ禍で漠然とした不安を感じるサポーターも多い中、自分ができることに一生懸命取り組むことで、不安を和らげられた。
- ・「コロナ禍でも出来ることはないか」と、前向きに考える機会になった。

③共通認識の再確認

- ・同じ方向を向いて活動していくことの再確認ができた。

■実施の課題

- ①枯らさないように水やりを欠かせない、うまく育たない等々の負担を感じず楽しみながら取り組めるように、適宜声掛けが必要。
- ②苗が数量限定だったということもあり、限られたメンバーでの実施だったため、今後は広く声を掛けられるように方法を考えることが必要。
- ③参加できないサポーターとの情報共有のため、サポーター新聞等で活動紹介する。

最後に・・・(認知症地域支援推進員としての思い)

「とにかく、ともに楽しもう！」を合言葉に！！

